

子育て支援

森野 真治 議員
(新政みえ/伊賀市選出)

問

少子化が進む中、県では、3人以上の子どもがいる家庭に対する経済支援として「3人目みえ応援プログラム」を実施していますが、利用率も低く、あまり有効な支援とは言えません。

そのため、3人以上の子どもがいる家庭へのアンケート調査など、当事者の声を調査し、より実効性のあるメニューを作るべきだと考えますが、いかがでしょうか。

答

今年度から「**マイ保育** ステーションモデル事業」を実施していく中で、ニーズの掘り起こしや、必要なサービスのリサーチができるかと考えています。



また、次世代育成推進計画の改訂にあたり、県・市町が行う調査も踏まえ、地域の子育て支援について、市町とともに検討していきたいと考えています。

○観光振興 ほか

地域防災の充実に向けて

前野 和美 議員
(自民みらい/津市選出)

問

消防団では、団員の確保に苦慮しており、存続すら危ぶまれているところもあります。地域の安全を確保するため、県が積極的に県や市町職員へ入団を働きかける必要があると考えます。



消防団協力事業所表示証

また、消防団と事業所が応援協定を結び、事業所内の自衛消防組織に消防団の訓練に参加していただくなどして、地域防災活動における協力関係を構築すべきではないでしょうか。

答

減少傾向が続く消防団員の確保は、重要な課題であり、県・市町職員の入団について、再度周知徹底を図っていききたいと考えています。

また、消防団と事業所との協力体制を推進していくことも重要と考えており、市町、消防協会などと協議しながら、地域防災力の向上に努めます。

○中山間地域の振興 ほか

地球温暖化対策のあり方

後藤 健一 議員
(新政みえ/松阪市選出)

問

国は、2020年時点の温室効果ガス削減の中期目標を、2005年比で15%減にすると表明しました。県では、「三重県地球温暖化対策推進計画」に基づいた取り組みを実施していますが、目標が甘いうえに、達成どころか大幅に増えることは明白です。

県として今後削減に向けて目標をどう設定するのか、また知事は県民に、地球温暖化対策についてどのようなメッセージを伝えていきますか。

答

一人ひとりが、ライフスタイルを見直せる力「人間力」、多様な主体が連携・協働して環境負荷への低減に取り組める力「地域力」など、「文化力」の視点でとらえた取り組みが、地球温暖化の解決につながるかと考えます。



地球温暖化防止啓発パンフレット

この考え方などを生かして、国が示した目標に対し、今後の取り組み目標や施策などについて、検討を進めていきます。

○一人ひとりが大切にされる社会の実現に向けて ほか

地域の生活交通の維持

村林 聡 議員
(自民みらい/度会郡選出)

問

複数の市町間を運行する広域的なバス路線の補助金は、経常収益が経常費用の20分の11以上であれば、国・県の補助対象となりますが、それ以下の場合には補助対象となりません。



広域路線が維持できない場合、市町が努力して維持している市町内の単独路線も成り立たなくなり、市町との役割分担からも、県が責任を持って取り組むべきだと考えます。

答

引き続き広域バス路線の維持・確保を図っていく必要があります。地域の方々に多く利用していただく取り組みが大切であると認識しています。

そのため、有識者、事業者、市町の参画により今年度を実施する「公共交通調査検討事業」の中で、バスの利用促進策や、広域路線の維持について議論していきたいと考えています。

○県立志摩病院 ほか